



## 第22回常任理事会

**日時** 令和4年2月8日(火) 18:00～18:55  
**場所** 北海道医師会館・9階理事会室  
**出席者** 松家会長、藤原副会長、三戸・目黒・橋本・水谷・伊藤・生駒・笹本・荒木・高橋・寺本各常任理事、藤瀬監事、長瀬顧問  
 (Web参加者) 佐古・鈴木両副会長、山科・青木・長谷部・菅田各常任理事、外園・梶両監事  
 (事務局：本田事務局長ほか11名)

### 協議事項

#### 第1号 日本医師会選挙管理委員会委員・予備選挙管理委員の選出に関する件(目黒常任理事)

選挙管理委員会委員に山科常任理事、予備選挙管理委員には笹本常任理事を推薦することと決定。

#### 第2号 母体保護法指定医師の指定に関する件(目黒常任理事)

10月の申請で要件不備により保留となっていた新規申請者1名について、要件を満たしたことから、2月4日の審査委員会で指定「可」とされたため指定医師とすることと決定。

#### 第3号 令和3年度会費減免の追加申請に関する件(目黒常任理事)

8月の第4回理事会以降、道医会費減免の追加申請者として、出産育児1名、免除額8,000円を承認し、次回理事会に諮ることと決定。

#### 第4号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件(高橋常任理事)

申請のあった日医生涯教育講座4件を承認することと決定。

#### 第5号 第161回臨時時代議員会[3月13日(日)]の開催に関する件(目黒常任理事)

3月13日(日)午前10時から当会館8階会議室において、第161回北海道医師会臨時時代議員会をWeb併用で開催することとその提出議題を決定。

#### 第6号 第7回理事会[2月12日(土)]の議案に関する件(目黒常任理事)

2月12日(土)午後4時から当会館において開催

する第7回理事会の提出議案を決定。

### 第7号 その他

#### (1) 令和4年度行事予定に関する件(事務局)

### 報告事項

#### 1. 北海道小児救急医療地域研修会[令和3年度]について(青木常任理事)

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年の8会場から4会場に減らし札幌会場はWebを併用して開催した。しかし、2月に予定していた釧路会場はオミクロン株の感染拡大の影響により開催を中止したことから、函館会場、旭川会場および札幌会場の3会場での開催となった。受講者は医療関係者延べ325名、うち123名が臨床研修医を含む医師であった。また、今年度から受講者対象に医学生を追加し5名が受講した。受講者には北海道知事、北海道小児科医会長、当会会長の三者連名による修了証を交付した。

#### 2. 第2回全国メディカルコントロール協議会連絡会[1月28日(金)・Web会議]について

(目黒常任理事)

第1部では「我らの地域のメディカルコントロール取組事例発表“地域メディカルコントロール協議会間の連携による好取組事例”」の発表があり、第2部では「コロナ禍を踏まえた救急救命士等の教育体制」をテーマに、パネルディスカッションが行われた。次回は5月25日(水)に大阪市で開催される予定である。

#### 3. 第31回都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会[1月28日(金)・Web会議]について(三戸常任理事)

日医・中川会長の挨拶の後、担当役員が「PCRの検査試薬保険点数の見直し前価格実態調査」を実施した経緯などを説明し、厚生労働省担当者より、PCR検査試薬のシェアや価格範囲の集計結果について報告があった。引き続き、担当役員から新型コロナウイルス感染症の直近の状況および新型コロナウイルス感染症対応人材ネットワーク事業などについて説明があり、質疑応答が行われた。

#### 4. 北海道臨床研修病院等連絡協議会及び北海道ブロック臨床研修制度協議会合同会議[2月2日(水)・Web会議]について(高橋常任理事)

北海道厚生局から医師の時間外労働の上限規制における臨床研修医への対応について、北海道から研修医確保の取組等の説明があった後、株式会社シーメックの高川章氏から「マッチングデータとコロナ禍を踏まえた医学生の動向」をテーマに講演があった。参加者は142名であった。

#### 5. 北海道医療・福祉関係職能団体等意見交換会[2月3日(木)・Web併用]について(水谷常任理事)

医療ならびに福祉関係に関わる職能団体の方々それぞれの立場から発言いただき意見交換をすることを目的に毎年開催している。今年度は、北海道栄

養士会から「栄養ケア・ステーション活動」と題し、日本栄養士会からの提案により、地域密着型のサービスを展開する栄養ケア・ステーション設立の経緯について話題提供があり、その後、意見交換を行った。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、昨年度同様にWeb併用にて開催し、32団体61名（会場14名、Web47名）の参加であった。

#### 6. 医療機関勤務環境評価センターの医療サーベイヤ推薦に係る打合せ会 [2月4日(金)・Web併用] について (水谷常任理事)

2024年度に適用となる「時間外労働の上限規制」を中心とした医師の働き方改革では、年間の時間外労働時間が960時間を超える医師が在籍する医療機関は、医療法で規定された医療機関勤務環境評価センターの評価を受けることとされている。日本医師会から評価を担う医療サーベイヤの養成を行うため、病院団体と連携して医療サーベイヤの推薦をとりまとめるよう依頼があり、四病院団体との打合せ会を開催した。北海道は、各都市医師会の推薦と併せて、12名を推薦することとした。

#### 7. 外部各委員会報告

##### (1) 北海道医療審議会 第2回地域医療部会 [2月1日(火)・Web併用] について (藤原副会長)

部会長に小職、部会長代理に鈴木副会長が選出された。届出により病床設置を申請する設置基準区分「周産期医療」に係る診療所新規1件を承認し、病床機能再編支援事業に係る協議については提案どおり承認された。また、地域医療支援病院1件について承認要件の「原則200床以上の病床」を満たさなくなる案件が出ているが、「地域の実情に応じて200床未満としても差し支えない」という厚生労働省からの見解が示されたことから、従来どおり地域医療支援病院として承認することとした。

##### (2) 北海道医療審議会 第2回医療法人部会 [2月1日(火)・Web併用] について (鈴木副会長)

部会長に小職、部会長代理に藤原副会長が選出された。医療法人の設立については医科診療所12件、歯科診療所8件の合計20件、医療法人の解散については医科診療所9件、歯科診療所4件の合計13件、医療法人の合併2件が上程され、すべて承認された。また、救急医療等確保事業基準を満たさない社会医療法人が2件あるが、いずれも当該法人に事業継続の意思があり、一定の猶予を与えれば改善が可能と認められること、また、新型コロナウイルスの影響により要件を満たすことができなかつたこと等を鑑み、認定の取消に1年間の猶予が与えられた。非医師理事長医療法人については、理事長候補者は決まっているが就任時期は決まっていない医療法人が3件、候補者が決まっていない医療法人が10件あることが報告された。

##### (3) 第2回北海道難病対策協議会移行期医療支援体制検討ワーキンググループ会議 [2月2日(水)・Web併用] について (三戸常任理事)

第1回ワーキンググループ会議において、北海道立子ども総合医療・療育センターにも参画していただくこととなったことから、新たに同センターの浅沼秀臣在宅支援室長が委員に加わった。移行期医療支援センターがすでに設置されている、埼玉県など7地域で行われている事業について報告後、北海道での設置方法について協議した。

##### (4) 第1回道民の健康づくり推進協議会地域・職域連携推進専門部会 [2月2日(水)・Web会議] について (荒木常任理事)

二次医療圏地域・職域連携推進連絡会の開催状況、特定健診および特定保健指導に係る主な取組状況について報告があった。北海道では、特定健診受診率向上対策事業として、札幌市内の「北海道健康づくり支援薬局」を中心とした薬局における薬剤師等による受診勧奨を行う取組を実施している。また、北海道循環器病対策推進計画については、循環器病の道内の現状について、道民の健康状態の状況の報告を受けた。

##### (5) 第2回指導が不適切である教員の認定等に関する意見聴取会 [2月4日(金)・Web会議] について (荒木常任理事)

指導改善研修制度について説明があった後、研修対象教員の報告があり、小職、大学教授、臨床心理士、弁護士、北海道高等学校長協会、北海道PTA連合会からの意見聴取が行われた。

## 第7回理事会

日時	令和4年2月12日(土) 16:00～17:29
場所	北海道医師会館・9階理事会室
出席者	松家会長、藤原・佐古・鈴木各副会長、三戸・目黒・橋本・水谷・伊藤・笹本・荒木・菅田・高橋・寺本各常任理事、滝山理事、長瀬顧問、深澤参与、藤瀬監事、岡部日医委員 (Web参加者) 山科・生駒・青木・長谷部各常任理事、今・島田・恩村・鈴木・沖・小西・吉田・稲葉・久島各理事、外園・梶両監事、本間議長、井門副議長、藤井日医理事、上埜・中川両日医委員 (事務局：本田事務局長ほか12名)

### 1. 開 会 2. 会長挨拶 3. 報告事項

(1) 日医理事会報告 (長瀬顧問、藤井日医理事)  
12月の理事会では、令和3年度日本医師会会員

数調査の件、中医協の件等の報告、新型コロナウイルス感染症対応人材ネットワークの件等について協議した。1月の理事会では、第67回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボードの件、中医協の件等の報告、第150回日本医師会臨時時代議員会開催の件等について協議した。また、事前の理事打合せにおいて、医療機関勤務環境評価センターの指定に係る申請等について意見交換を行った。理事会の詳細については日医ニュース等を参照されたい。

## (2) 日医各委員会報告

### 1) 労災・自賠責委員会 [10月15日(金)・12月10日(金)・Web会議] について (深澤参与)

次期の労災診療費の要望として、「労災患者初診時対応加算」や「高齢労災被災者に対する管理料又は加算」といった新設項目を含めた10項目を最重要要望項目として取りまとめた。また、自賠責保険については新基準に基づいた制度としての運用やアンケートから浮かび上がった問題点等について意見交換を行った。

### 2) 広報委員会 [12月16日(木)・Web会議] について (山科常任理事)

小冊子「禁煙は愛」改訂版、国民向け動画の制作、日医君のキャラトーカー、赤ひげ大賞拡大企画等の進捗状況について報告後、前回の「今後の広報活動のあり方」についての議論を踏まえ、各委員から医療現場の声の収集力の強化、マスコミとの関係の維持強化を中心に各医師会の取り組み状況について報告があり、質疑応答が行われた。

### 3) 地域医療対策委員会 [1月21日(金)・Web会議] について (笹本常任理事)

日医・城守常任理事より「外来機能報告等に関する報告書」の概要について、日医・猪口副会長より「地域医療構想における再検証対象医療機関の取組状況」などについて説明後、報告書案について協議した。

### 4) 未来医師会ビジョン委員会 [1月22日(土)・Web会議] について (上埜委員、中川委員)

答申の各論案について、各委員から内容の説明があり、意見交換後、答申全体の取りまとめ方や今後のスケジュールについて確認した。

### 5) 有床診療所委員会 [1月27日(木)・Web会議] について (岡部委員)

最終答申について協議後、日医・神村常任理事および猿木和久委員(群馬県医師会理事)より厚生労働省の「第6回外来機能報告等に関するワーキンググループ」の概要について説明があった。

### 6) 財務委員会 [1月27日(木)・Web会議] について (藤原副会長)

来年度の日医事業計画案等に基づき、質疑や応答があった文言を中心に、重点課題について説明があった。

### 7) 医療関係者検討委員会 [1月28日(金)・Web会議] について (水谷常任理事)

諮問「withコロナ時代における医療人材の確保について」の答申案を協議した。小職は「看護職員の確保と医師会立看護師等養成所の役割」の項目で北海道の実情、地域における役割について執筆した。答申は3月末に行われる予定である。

### 8) 学校保健委員会 [2月3日(木)・Web会議] について (荒木常任理事)

文部科学省より、児童生徒等の新型コロナウイルス感染症の感染状況およびオミクロン株に対応した学校における感染対策等について説明があった後、ワーキンググループ委員が答申起草のために作成した報告書案について検討を行った。今回が今期の最終委員会であることから、出席委員全員が一言ずつ述べることとなり、小職からは、北海道および北海道教育委員会と協力し、市町村保健師・養護教諭等がHPVワクチンの予防接種について、正しい知識を身に付ける研修を3月中に実施する予定であることを述べた。

### 9) 医療経営検討委員会 [2月3日(木)・Web会議] について (橋本常任理事)

諮問「医療機関における経営上の諸課題への対応」について、各委員から答申の草案について説明があり、活発な意見交換が行われた。次にコロナ禍の医療機関の経営状況、地域における感染防止の取り組み、医療機関への公的支援制度等について報告があった。

### 10) 外国人医療対策委員会 [2月4日(金)・Web会議] について (伊藤常任理事)

報告書案について協議した。報告書は、「1. はじめに」「2. 外国人医療を取り巻く現状と取組について」「3. 新型コロナウイルス感染症の影響について」「4. 外国人医療が直面する課題について」「5. 医療通訳に関する各地域の取組事例について」「6. まとめと提言」「7. おわりに」で構成される予定。

## 4. 承認事項

### (1) 事務局の人事異動について (目黒常任理事)

令和4年1月4日付けで杉島課長補佐を財務課長へ昇格する人事異動を承認決定。

### (2) 役員賠償責任保険の更新について

(目黒常任理事)

法律改正により、理事会決議が必要な役員賠償責任保険契約加入を承認決定。

## 5. 協議事項

### 第1号 日本医師会選挙管理委員会委員・予備選挙管理委員の選出に関する件（目黒常任理事）

選挙管理委員会委員に山科常任理事、予備選挙管理委員には笹本常任理事を推薦することと決定。

### 第2号 令和3年度会費減免の追加申請に関する件（目黒常任理事）

8月の第4回理事会以降、道医会費減免の追加申請者として、出産育児1名、免除額8,000円を承認し、第161回臨時時代議員会に諮ることと決定。

### 第3号 令和4年度事業計画に関する件（鈴木副会長）

令和4年度の事業計画（案）を承認し、第161回臨時時代議員会に報告することと決定。

### 第4号 令和4年度予算に関する件（目黒常任理事）

令和4年度の予算（案）を承認し、第161回臨時時代議員会に報告することと決定。

### 第5号 北海道医師会会計処理規程の一部改正に関する件（目黒常任理事）

会計処理規程において、新会計システム導入による帳票の文言修正と、固定資産での目的変更による文言追加を承認することと決定。

### 第6号 第161回臨時時代議員会〔3月13日（日）〕の開催に関する件（目黒常任理事）

3月13日（日）午前10時から当会館8階会議室において、第161回北海道医師会臨時時代議員会をWeb併用で開催することとその提出議題を決定。

### 第7号 理事提案事項

特になし。

### 第8号 その他

(1) 令和4年度行事予定に関する件（事務局）

## 6. 道総医協関連事項（鈴木副会長）

特になし。

## 7. 閉会

医師を推薦することと決定。

### 第2号 北海道麻薬中毒審査会委員候補者の推薦に関する件（目黒常任理事）

北海道精神科病院協会から推薦のあった岡本呉賦、高橋義人両医師を推薦することと決定。

### 第3号 母体保護法指定医師の指定に関する件（目黒常任理事）

2月16日の審査委員会において指定「可」とされた新規申請者1名を指定することと決定。

### 第4号 日本医師会認定産業医の認定申請に関する件（高橋常任理事）

認定要件を満たした新規申請者10名と更新申請者48名を承認し、日医へ申請することと決定。

### 第5号 日本医師会認定健康スポーツ医の認定申請に関する件（三戸常任理事）

認定要件を満たした新規申請者15名と更新申請者9名を承認し、日医へ申請することと決定。

### 第6号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件（高橋常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座3件を承認することと決定。

### 第7号 その他

(1) 3月行事予定に関する件（事務局）

## 報告事項

### 1. 第1回北海道ドクターヘリ基地病院連携会議〔2月10日（木）・Web会議〕について

（目黒常任理事）

市立釧路総合病院の担当により北海道内のドクターヘリ4基地病院関係者等の連携会議が開催され、運航経費の補助金基準額の算出についての現状と問題点などを共有した。また、市立釧路総合病院から、フライトスタッフと消防機関が参加するインターネットを利用したデブリーフィングについての報告があった。

### 2. 母子保健対策推進委員会〔2月13日（日）・Web併用〕について（三戸常任理事）

委員長に小職、副委員長に北海道保育保健協議会・古田会長を選出した後、当会の母子保健対策の取り組みについて報告した。その後、北海道保育保健協議会から「コロナ禍での保育実施に関する調査」の結果報告、北海道から「3歳児健診における視覚検査（屈折検査）について」、「新生児聴覚について」の話題提供があった。引き続き「定期健康診断のあり方（聴力・視力）について」、「新型コロナウイルスワクチンの予防接種体制等」について、各委員から地域の状況や取り組みを報告していただき、意見交換を行った。

### 3. 日医母子保健講習会〔2月13日（日）・Web開催〕について（三戸常任理事）

「新型コロナウイルス感染症による母子保健への影響」をテーマに、厚生労働省子ども家庭局母子保健課・山本課長から「最近の母子保健行政の課題」

## 第23回常任理事会

日時 令和4年2月22日（火）18:00～18:49

場所 北海道医師会館・9階理事会室

出席者 松家会長、藤原・鈴木両副会長、三戸・目黒・山科・伊藤・笹本・荒木・高橋・寺本各常任理事、藤瀬監事、長瀬顧問（Web参加者）佐古副会長、橋本・水谷・青木・長谷部・菅田各常任理事、外園・梶両監事

（事務局：本田事務局長ほか10名）

## 協議事項

### 第1号 社会保険診療報酬支払基金北海道支部審査委員会委員の推薦に関する件（伊藤常任理事）

外科1名の辞任に伴う後任について、札幌市医師会より推薦のあった北海道がんセンター・渡邊健一

について講演があり、その後、産婦人科医・小児科医からそれぞれ関係する講演が行われた。聴講者は316名であった。

#### 4. 認知症サポート医フォローアップ研修 [2月19日(土)・Web開催] について (荒木常任理事)

北海道から認知症施策について、北海道警察から公安委員会の診断書作成について説明があった。その後、シンポジウムとして「認知症に係る諸問題および最近の動向について」をテーマに、北海道認知症サポート医連絡協議会・伊古田副幹事長より「新たな認知症診断基準について」、弁護士法人佐々木総合法律事務所・福田弁護士より「認知症患者の代理意思決定について」と題して発表があった。参加者は105名であった。

#### 5. 外部各委員会報告

##### (1) 北海道小児在宅医療推進協議会 [2月7日(月)・Web併用] について (三戸常任理事)

座長に小職が指名された。令和2年度小児科を標榜する病院に係る小児科医師数等の調査結果について報告があった後、北海道小児等在宅医療連携拠点事業の実施状況等について協議した。また、一般社団法人スペサポが「医療的ケアが必要なお子さんと家族のための支援ガイドブック」を作成した旨の報告があった。

##### (2) 第3回北海道地域医療介護総合確保基金(介護分)検討協議会 [2月18日(金)] について (藤原副会長)

令和3年度北海道計画の中間事業評価および第2回検討協議会で出された意見等への対応について報告があった後、令和4年度基金を活用したキャリアパス支援研修事業や介護ロボット導入支援事業等の方向性について説明があった。

#### 道総医協関連事項 (鈴木副会長)

##### 1. 第3回地域医療専門委員会 [2月10日(木)・Web併用] について (佐古副会長)

へき地医療拠点病院の指定の考え方について協議し、指定要件として「医療従事者への研修など」を加え、民間病院も追加指定の対象とすることとした。その後、地域医療支援病院制度の改正について報告があった。また、地域医療構想における次年度の取組方針および令和4年度地域医療介護総合確保基金(医療分)事業について協議を行った。

##### 2. 第3回地域保健専門委員会 [2月17日(木)・Web併用] について (藤原副会長)

北海道がん診療連携指定病院の新規・更新指定について協議した。その後、北海道小児・AYA世代のがん患者等の妊よう性温存療法研究促進事業や北海道のアレルギー疾患対策について報告があった。

## 北海道医報へのご投稿等について

◇広報委員会◇

北海道医師会では、会員の皆さまから「学術投稿」「会員のひろば」等各種原稿を下記要領にて募集しております。ぜひともご投稿いただきたくお願い申し上げます。

なお、写真作品のご投稿につきましては、ホームページに「フォトギャラリー」を設けておりますので、ご応募ください。

### 投稿要領

#### 1. 原稿の締切

毎月5日までにいただいたものは原則として翌月号に掲載となります。ただし、「会員のひろば」については、受付状況により掲載号を決定します。

できるだけメール等の電子メディアでお寄せください。

#### 2. 原稿の体裁と字数制限

- (1) 原則として横書きといたします。
- (2) 引用文以外は、すべて当用漢字、現代かなづかいを使用してください。
- (3) 誤字、脱字、明らかな間違い等は広報委員会において訂正いたします。
- (4) 1回の掲載紙面は、原則として「学術投稿」は2頁、「会員のひろば」は1頁を限度とします。

医報1頁は約2,200文字です。ただし、タイトル、写真、図表等を含んでおりませんのでご考慮ください。

- (5) 長文原稿および連載物は、広報委員会にて採否決定の上で分割掲載、掲載号等を決めさせていただきます。

#### 3. 原稿の訂正、返却

次の場合は、広報委員会の決定に基づき、執筆者に対し訂正を求めるか、または返却いたします。

- (1) 特定の個人・団体を誹謗、中傷する内容
- (2) 匿名の投稿
- (3) 本誌以外に既掲載のもの、あるいは投稿中のもの(二重投稿)  
ただし、特に必要と認められる場合はこの限りではない
- (4) その他掲載に支障がある内容

#### 4. ホームページへの掲載

特にお申し出のないかぎりホームページに掲載されますので、予めご了承ください。

連絡先：北海道医師会事業第一課  
TEL 011-231-7661 FAX 011-241-3090  
E-mail: ihou@m.doui.jp